

11人制サッカーコート1面 110.0m×73.0m=8,030㎡

概要

- ・フィールドの舗装は、クレイ系、天然芝、ロングバイル人工芝等が使用されているが、国際試合、全国レベルの試合およびリーグの試合には天然芝が用いられる。

寸法

- ・ピッチは長方形とし、タッチラインの長さ90~120m、ゴールラインの長さ45~90mと幅があるが、公益財団法人日本サッカー協会においては国際試合、全国規模の大会等、国際サッカー連盟においてはワールドカップ、ワールドユース、オリンピック大会等のピッチの規格は「105m×68m」と定めている。

勾配

- ・フィールドの勾配は、特に規定はないが表面排水を考慮のうえ、できるだけ平坦に仕上げる。
- ・勾配は、0.5%程度を標準とし、0.3~1.0%の範囲で決定することが多い。クレイ系舗装の場合は、上限勾配を0.7%程度とすることが望ましい。
- ・他の競技と兼用するフィールドの場合は、他の競技のルールも考慮して決定する。
- ・公益財団法人日本サッカー協会の「スタジアム標準」、「ロングバイル人工芝ピッチ公認に関するガイドブック」では、天然芝の場合は平坦であること、ロングバイル人工芝では勾配0~1.0%と明記されている。

方位

- ・ゴールポストの相対する方位(長軸方向)は、プレイヤーが西日を避けるために南北方向が望ましい。
- ・恒風方向等の立地条件を考慮して決定することも必要である。
- ・メインの観客席は、太陽を背にするように西側に設置することが望ましい。

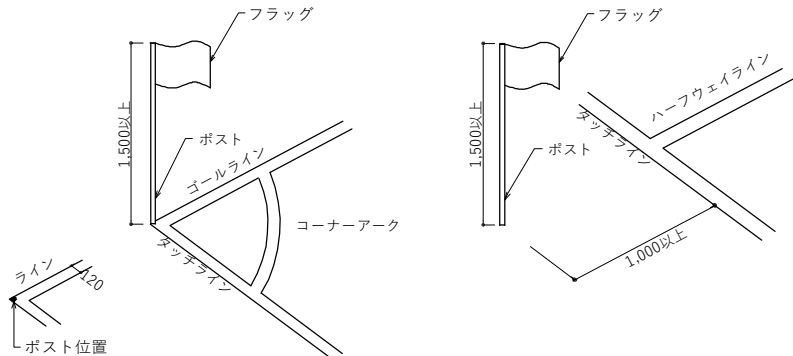
附属品

ライン

- ・ライン幅は、12cm以下とする。ただし、一般的にはライン幅は12cmとしている。
- ・ライン材は、石灰または中性の石膏などが使われるが、人体に悪影響があるといわれている。また、床土の上に堆積するため、水溶性高分子塗料を吹き付ける方法が良いようである。
- ・ロングバイル人工芝の場合は、あらかじめラインが織られたものやライン用の芝を敷設時に埋め込む方法がある。

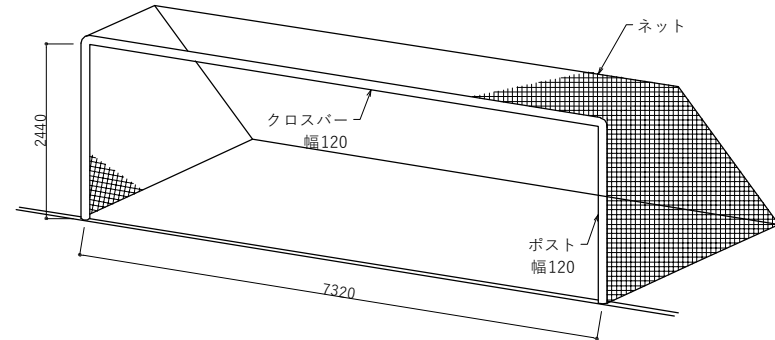
フラッグポスト

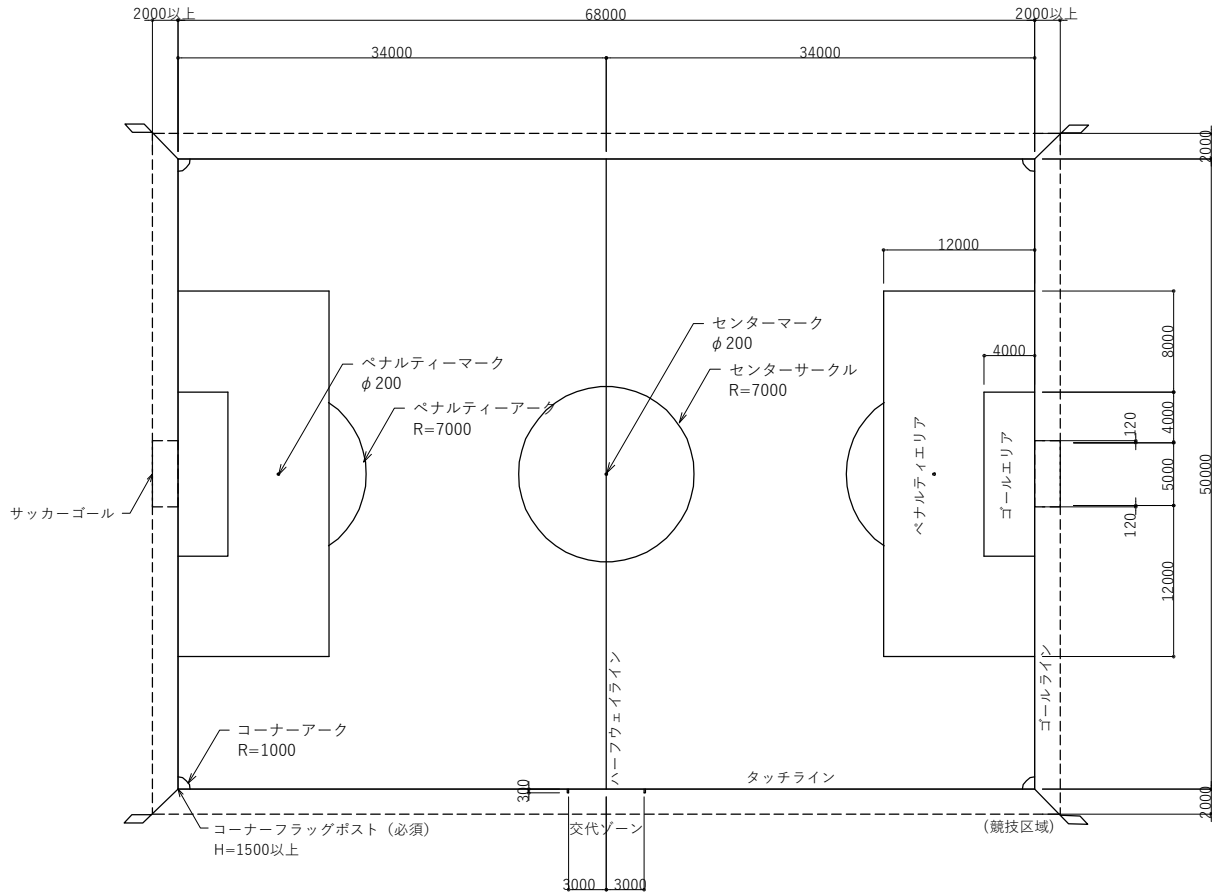
- ・フラッグポストは、タッチラインとゴールラインが交わる各コーナーおよびハーフライン両端のタッチラインより1m以上離れた位置に立てる。
- ・フラッグポストは、先端の尖っていない高さ1.5m以上のポールに旗を付けたもので、風などによって曲がったり傾いたりしないものとする。



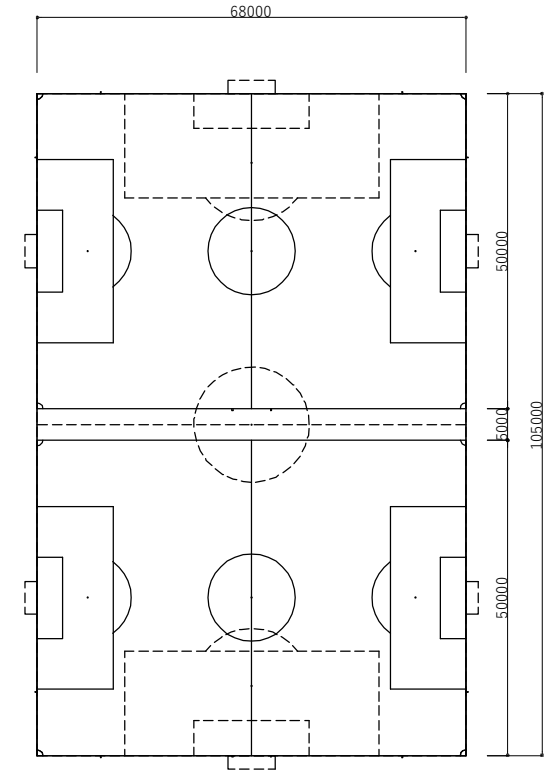
ゴール

- ・ゴールは、それぞれのゴールライン上の中央に置く。
- ・ゴールは、コーナーフラッグポストから等距離に立てられた垂直な2本のゴールポストと、その頂点を結ぶ水平なクロスバーとからなる。
- ・ゴールポストの内幅は7.32m、クロスバーの高さはその下端からグラウンド面まで2.44mとする。
- ・競技規則では、ゴールポストとクロスバーは同じ幅と厚さで12cm以下とあるが、12cmのものをもっとも最適としている。ゴールの色はすべて白色とする。
- ・ゴールポストとクロスバーは、ゴールラインの幅と同じとする。
- ・ゴールポストとクロスバーは、木材、金属、または承認された材質で、その断面形状も角形、円形、楕円形のいずれかとする。円形が一般的である。
- ・ネットは、ゴールとその後方のサブポールに取り付ける方法があるが、それは適切に支えられ、ゴールキーパーの邪魔にならないようにする。
- ・ゴールは、使用時、未使用時に限らず転倒防止等の安全策を施したものとす。





11人制コート(1面)、8人制コート(2面) 施工配置例



8人制サッカーコート1面 72.0m×54.0m=3,888㎡

概要

- ・公益財団法人日本サッカー協会は、小学生年代の子供たちが楽しみながら成長でき、サッカーやフェアプレー精神が育まれることを念頭に、「サッカー競技規則」をベースとして小学生年代の選手のための8人制(少人数)サッカーのルールを制定した。
- ・これは従来の少年サッカーの11人制ルールから移行して、8人制ルールとして制定したものである。
- ・このルールに基づき、サッカーがこれまで以上に、日常的に楽しめるようにとの趣旨で導入されたものである。
- ・8人制サッカールールに規定されていない事項については、公益財団法人日本サッカー協会発行の「サッカー競技規則」の最新版を準用する。

寸法

- ・従来、少年サッカーのピッチの規格は明確に示されていないが、全日本少年サッカー大会での要項に規定されている長方形とし、タッチラインの長さ80m、ゴールラインの長さ50mを基準としていた。
- ・8人制サッカーに移行することで、成人のサッカーピッチ(105m×68m)を2分して、2面のピッチを確保できることとし、8人制サッカーピッチは、タッチラインの長さ68m、ゴールラインの長さ50mを基準とする。
- ・公益財団法人日本サッカー協会はこの規格を推奨しているが、試合会場の規模によって適宜決定してもよいとしている。

勾配

- ・8人制サッカー場を成人のサッカー場に併設する場合は、成人サッカー場の勾配を利用することが多いため8人制サッカーは均一な勾配を確保することは難しい。
- ・単独に8人制サッカー場を建設する場合の勾配は、0.5%程度を標準とし、0.3~1.0%の範囲で決定することが多い。クレイ系舗装の場合は、上限勾配を0.7%程度とすることが望ましい。
- ・他の競技と兼用するフィールドの場合は、他の競技のルールも考慮して決定する。

方位

- ・単独の8人制サッカー場の場合は、成人サッカー場と同じくゴールポストの相対する方位(長軸方向)は南北方向に取ることが望ましい。成人サッカー場に併設する場合は、成人サッカー場が長軸を南北方向いとることが多いため、8人制サッカー場は長軸が東西方向になる。

附属品

ライン

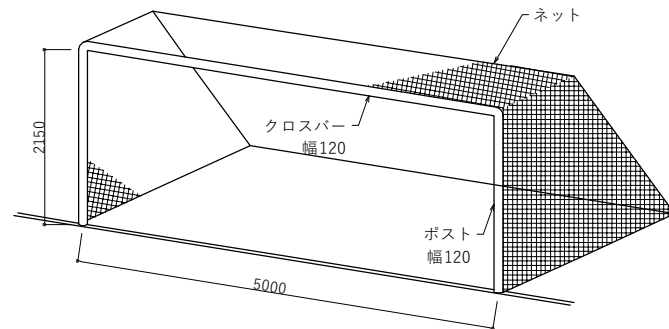
- ・ライン幅は、12cm以下とする。ただし、一般的にはライン幅は12cmとしている。
- ・ライン材は、成人サッカー場に準じる。成人サッカー場を利用して併設する場合は、成人サッカーのラインとの見分けを明確にするため色を変えることが望ましい

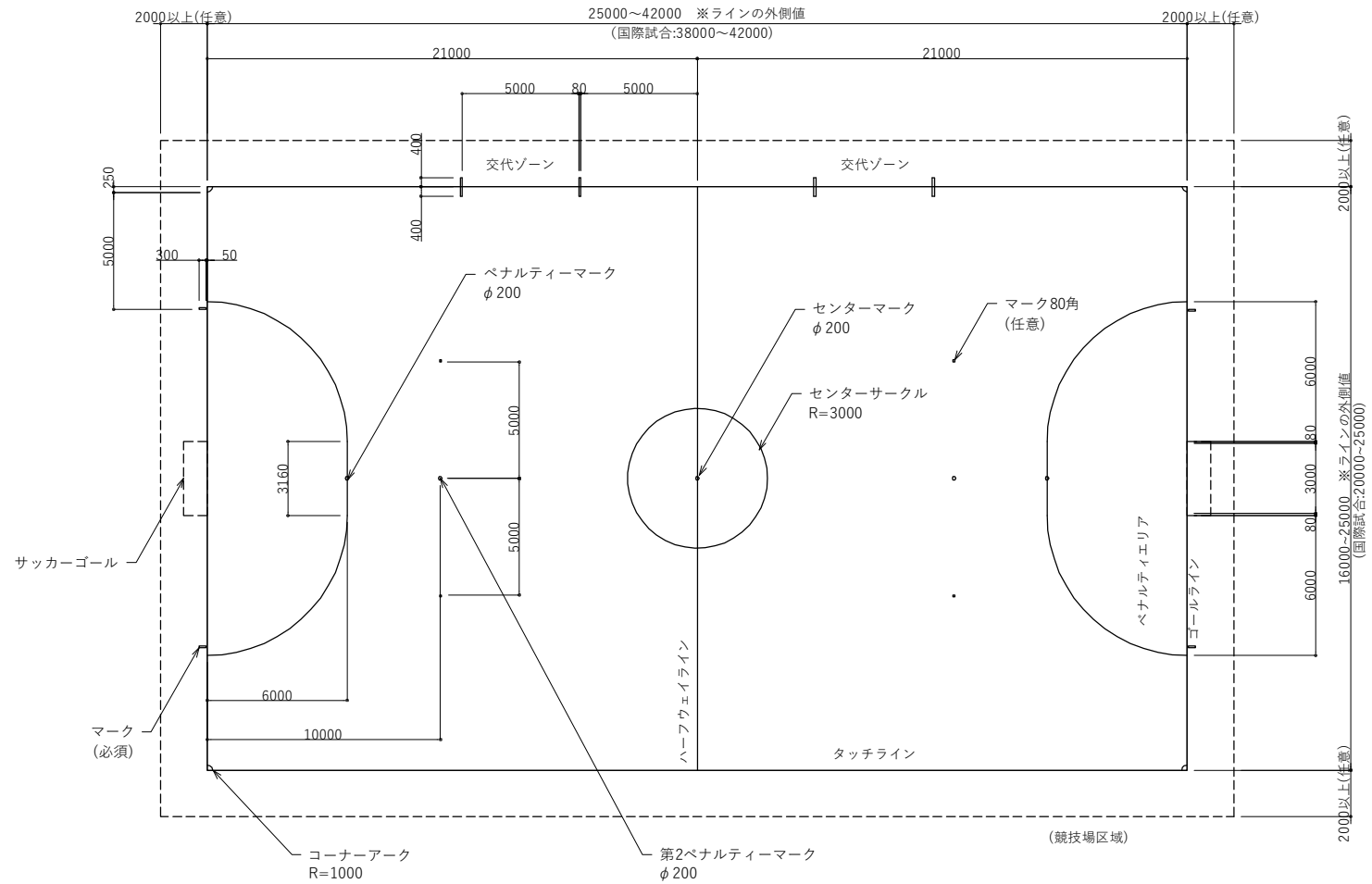
フラッグポスト

- ・フラッグポストは、成人サッカーと同様のものを使用し、設置場所も同様の位置とする。

ゴール

- ・ゴールの位置、規格は、成人サッカーと同様の仕様とする。ただし、ゴールポストの内幅は5.00m、クロスバーの高さはその下端からグラウンド面 まで2.15mのものを推奨する。





フットサルコート1面 46.0m×29.0m=1,334㎡

フットサルコート(2)

概要

- ・フットサルは、国際サッカー連盟が主催する世界大会もあり、主に屋内で行われる5人制のミニサッカーの競技の名称である。
- ・競技の方法は、11人制のサッカーとほぼ同じだがコートが狭く、人数が少ないだけに個人技とチームワークというサッカーの基本が11人制以上に求められる。

寸法

- ・ピッチは長方形とし、タッチラインの長さは、ゴールラインの長さより長くなければならない。
- ・国際試合の場合の規格は、タッチラインの長さ38～42m、ゴールラインの長さ20～25mとする。

勾配

- ・フィールドの勾配は、特に規定はないが表面排水を考慮のうえ、できるだけ平坦に仕上げる。
- ・勾配は、0.5%程度を標準とし、0.3～1.0%の範囲で決定することが多い。クレイ系舗装の場合は、上限勾配を0.7%程度とすることが望ましい。
- ・他の競技と兼用するフィールドの場合は、他の競技のルールも考慮して決定する。

方位

- ・ゴールポストの相対する方位(長軸方向)は、プレイヤーが西日を避けるために南北方向が望ましい。

附属品

ライン

- ・ライン軸は、8cmとする。
- ・ライン材は、石灰又は中性の石膏などが使われるが、人体に悪影響があるといわれており、また、床土の上に堆積するため、水溶性高分子塗料を吹き付ける方法がよいようである。
- ・人工芝の場合は、あらかじめラインが織られたものやライン用の芝を敷設時に埋め込む方法がある。

ゴール

- ・ゴールは、コーナーから等距離に立てられた垂直な2本のゴールポストと、その頂点を結ぶ水平なクロスバーとからなり、ゴールポストの内幅は3m、クロスバーの高さはその下端からグラウンド面まで2mとする。
- ・ゴールポストとクロスバーは、同じ幅と同じ厚さで8cmとし、白色でなければならない。
- ・ゴールポストとクロスバーは、ゴールラインの幅と同じとする。
- ・その他の仕様及び設置方法はサッカーゴールと同様である。

